

山形県の古木・名木 No.31

山五十川の玉スギ (やまいらがわのたますぎ)

鶴岡市山五十川字碓井266

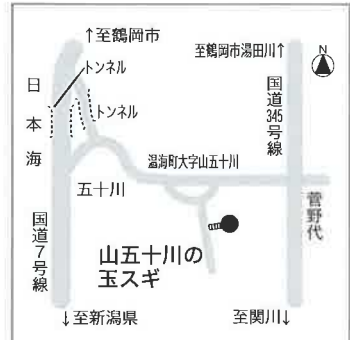
熊野神社の境内にある「山五十川の玉スギ」は、樹勢が球状なところからこの名がある。

幹の西側は神社に面しておよそ3.5mの崖があり、太い根部が地上に露出して縦横に走り、拝殿の下を通るなど奇観を呈している。

樹高は36m、枝張が東西に44m、南北に30mあって、根元周囲22.2m、目通幹周11.4mに達し、全体が半球状を呈しており、樹齢千五百年位と言われている。

昭和26年6月9日国指定天然記念物に指定されている。〔山形県森林協会〕

(案内略図)



国指定 天然記念物
山五十川の玉杉
 指定日 昭和二十六年六月九日
 所在地 山形県鶴岡市山五十川字碓井二六六

熊野神社の境内にある、山五十川の玉杉は樹勢が球状を呈しているからこの名がある。
 幹の西側は神社に面しておよそ三・五メートルの崖があり、太い根部が地上に露出して縦横に走り、拝殿の下を通るなど奇観を呈している。
 樹高は三六・八メートル、枝張東西に四四・四メートル、南北に三〇・二メートルあり、根元周囲二二・二メートル、目通幹周十一・四メートルに達し、全体が半球状を呈しており、樹齢は千五百年位と推定されている。
 昭和二十六年六月九日指定されている。〔山形県森林協会〕

昭和二十六年六月九日 鶴岡市教育委員会

【森林やまがた55号(2001年10月)記載】